

ウラジオの波止場に灯がともる頃ともなれば、昼の学部の若やいだ知性、混沌と開発の熱気は嘘の様に、暗がりの並木のかげは、猥雑と犯罪が織りなす狂気の、何でもありの悪の黒い華が赤く咲く。罪と罰のラスコーニコフは何処にでもいる。

されど、夜のウラジストークは美しく魅惑的である。それが私の絵となった。

感字があっても書うが無い絵ではあるが、私の芸術の瞬間は、心が犯され、体が痺れる様な怪感の時を創りたい。

世の美園の狩人よ、実りの薄かった今年のシーンを過ごすには、何か、確かな 刺激あるアリバイが必要ではないだろうか。



2014-10.oct/20 MON~10.oct/25 SAT

「明日への仕事、12人」展参加
盛岡 | gallery 彩園子I

gallery 彩園子 岩手県盛岡市上ノ橋町1-48 tel.019-653-4646



2014-10.oct/11 SAT~11.nov/9 SUN

東和町「街かどart@土澤」展参加
花巻 | 東和町街かど展示場

街かど美術館事務局 tel.0198-29-5959

● A会場、B会場の展示作品は、それぞれ新作の別作品となります。

2014 夜のウラジオ クラシーバ

◎この風土でしか育たなかった魂が 熟成するとき、3.11の狂気を潜り抜けた眼が 猥雑と狂乱のウラジストークを捉えて…

大宮政郎 感象絵画 ドローイング70 展

atelier 〒028-7303 岩手 / 八幡平市 柏台 2-9-3 アーベインH:215 / tel.0195-78-4032

誰もが知らなかった 北異の狂気



命短し 恋せよ乙女・・・生きた、描いた 85 年。忌野の果てで ロシア娘は待っていた

Ohmiya masarO